

7月のメモ

3日 郡民体育大会
5日 参議院選挙候補者立合演説会
8日 選挙管理委員会
10日 参議院選挙投票開票
18日 教育委員会
20日 農業委員会総会
21日 国民年金相談
27日 例月出納検査

広報あまがさき

麻生町1561-9
電話②0811代

麻生町役場蔵刷
生沼幸印
麻小麻

所人
行所
発刊
印刷

7月15日	
No. 271	
〈人口〉	
男	8,952人
女	9,143人
計	18,095人
世帯数	4,114戸



完成した天王崎公園

リクリエーションの基地 天王崎公園が完成

雄大な霞ヶ浦の湖岸で、霞ヶ浦八景にも数えられる天王崎に「天王崎公園」がこのほど完成しました。

この公園は、町が建設省より占用許可を得て昭和四十八年埋立を完了した天王崎駐車場を、霞ヶ浦の自然環境を守

りつつレクリエーション需要に対応するため、霞ヶ浦総合開発事業のひとつとして計画・実施されたものです。

費用については、町が設計費の一部を支出したが、事業費は総額五億四千八百万円、これを県と国が負担して整備したものです。

天王崎は茨城県観光開発計画でも「新治の州」として、常陸風土記と万葉ラインのコースにあげられており、今後羽黒山公園と一体にして観光開発を図るとともに、町民の皆さんの憩いの場所としても充分活用していく方針です。是非ご利用ください。

公園の概要

駐車場 六、八〇〇平方メートル
園地 六、四〇〇平方メートル
便所 一棟 約三〇平方メートル
みんな
いつもきれいに

第二回定例町議会

都市計画公園の用地を取得

51年度白帆荘の純利益は

一千四百五十三万円

昭和五十二年第二回定例町議会が六月十六日開会され、

請願四件の審査並びに八件の議案審議のほか一般質問も行われました。

〔請願第1号〕

町道の一部付替に関する請願

これは、建設委員会に付託されていたもので、二回にわたる審査および現地調査の結果、不採択となりました。

〔請願第3号〕

町道路位置変更反対の請願

請願第一号と同位置のものであり、この請願の取下げについては、許可されたもので

〔請願第4号〕

商工業者事業融資に対する利子補給の請願

この利子補給についての請願は採択となりました。

〔請願第5号〕

農業委員会委員議会推せん委員の増員に関する請願

この請願については、不採択となりました。

〔議案第30号〕

町有財産の取得について

麻生都市計画公園（羽黒山公園）の用地として一五、〇三二・一二平方メートルおよび建物一棟三〇八・七六平方メートル取得することになったので議会の同意を求めたものです。

〔議案第31号〕

麻生町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例

法の改正にともなう、消防団員の退職報償金の額が改められることになったため

例の一部を改正したものです。

〔議案第32号〕

麻生町在宅重度心身障害児福祉手当支給条例の全部を改正する条例

この条例は、法の改正により全面的に改正されたもので、これまで一・二級の障害者に

対し福祉手当が支給されていたものが、三・四級の障害者

まで拡大されて支給されるようになったものです。

〔議案第33号〕

麻生町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

このたびの改正では、疑制世帯主の所得割等を課税額に算入しない。月額課税の対象を全面的に実施する等に加え

課税の限度額を従来の十五万円から十七万円に引き上げた

などが主な点となっているものです。

〔議案第34号〕

昭和五十二年度麻生町一般会計補正予算

昭和五十二年の歳入歳出それぞれ九千八百五十三万四千円を追加し、歳入歳出それぞれ二千二百三十四万七千九百円としたものです。

〔議案第35号〕

昭和五十一年度麻生町営国民宿舎白帆荘運営事業会計決算認定について

昭和五十一年四月一日より昭和五十二年三月三十一日までの総利益は一千六百九十六万二千三百三十二円、純利益は一千四百五十三万八千九百五十七円です。白帆荘の利用状況については、宿泊人員一万七千七百六十三人、休憩人員

二万一千七十七人です。

〔議案第36号〕

北方領土の早期返還に関する決議

茨城県町村議会議長会長からの決議要請にもとづいて決議したものです。

〔議案第37号〕

麻生町特別職の職員で非常勤のもの報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

特別職の職員のうち非常勤である選挙投票管理者等の報酬の額を改めたため条例の一部を改正したものです。

一般質問

A議員 学校教育の中で学力低下の問題について伺いたい。学校生徒が教科内容を充実に理解して卒業できるよう万全の方策を講じてほしいと思

う。落こ者対策、あるいは学校格差の問題についてどう考

えているか伺いたい。

〔教育長〕 まず学校格差についてであるが、学校格差は一つには生徒の学力による

ところの格差であるが、しか

し、学校の格差というものは

あつてしかるべきと考える。

学校には、それぞれ伝統があ

り、校風というものがあ

る。また、学校格差は学校の職員

構成、生徒数の規模、父兄の

子供に対するしつけ等を考え

ないと理解できない。また、

学校の施設、地域の環境等、

これらいろいろの条件によつ

て当然学校格差が生じてくる。

町教育委員会としては、職員

の構成や学校施設の整備等に

ついて、学校格差がでないよう最善の改良をする努力を

している。

次に学力低下の問題である

が、昭和四十七年以来町内の

各小学校では、学力の水準を

みれば、県の水準と比較して

それほど低下はしていないと考

える。学力向上の対策の一つ

として、今年度は読み書きソ

ロを最重要目標にして学力

向上に努めている。落ちこぼ

れ教育がないよう努力する。

B議員 新原住宅の汚水処理

並びに関東セグメント工場

の排水処理について、町はど

うに考えているか。

次に麻生カントリークラブ

のゴルフ場内にある町道の一

部が通行止めになっているが

この点はどうか考えるか。

また、黒熊池での釣は禁止

されているのかどうか伺いた

い。

〔建設課長〕 まず新原の

町営住宅の汚水処理について

であるが、これはすでに伊奈

方式による雑排水の蒸発およ

び地下浸透法で施工を完了し

ている。セグメント工場の排

水については工場排水等は場

内処理を行ない、雑排水等に

ついては浄化槽による方法で

行なっている。

麻生カントリークラブ内の

町道については、いずれも開

放しているという確認をして

いる。

黒熊池での釣りについては

は、この池は国有であるので

釣りには利用して差しつかえ

はないが、一方、会社側にし

てみれば専用で水面を借用し

ているというところもあるの

で、今後、仮に問題が出た場合

は、町としてもその調整をし

たいと考える。

下老人クラブへ一万円。

岡の箕輪 保さんは、岡老

人クラブへ三万円。

南の浅野さんは、南老

人クラブへ一万円。

麻生の野川久寿さんは、田

町老人クラブへ一万円。

根小屋の田口 寛さんは、

根小屋子供会へ三千八百十

五円。

白浜の大原弘明さんは、白

浜子供会へ三万円。

小高の箕輪 一郎さんは、前

谷老人クラブへ一万円。

麻生の荒井孝二さんは、下

蔵川老人クラブへ一万円。

蔵川の山口 翠さんは、蔵

川老人クラブへ一万円。

麻生の平山ヒロさんは、下

蔵老人クラブと幸会へ一万円

於下の高木監寿さんは、於

下老人クラブへ一万円。

於下の高木監寿さんは、於

下老人クラブへ一万円。

於下の高木監寿さんは、於

下老人クラブへ一万円。

老令等福祉年金の証書交付

年金支給日は九月六日

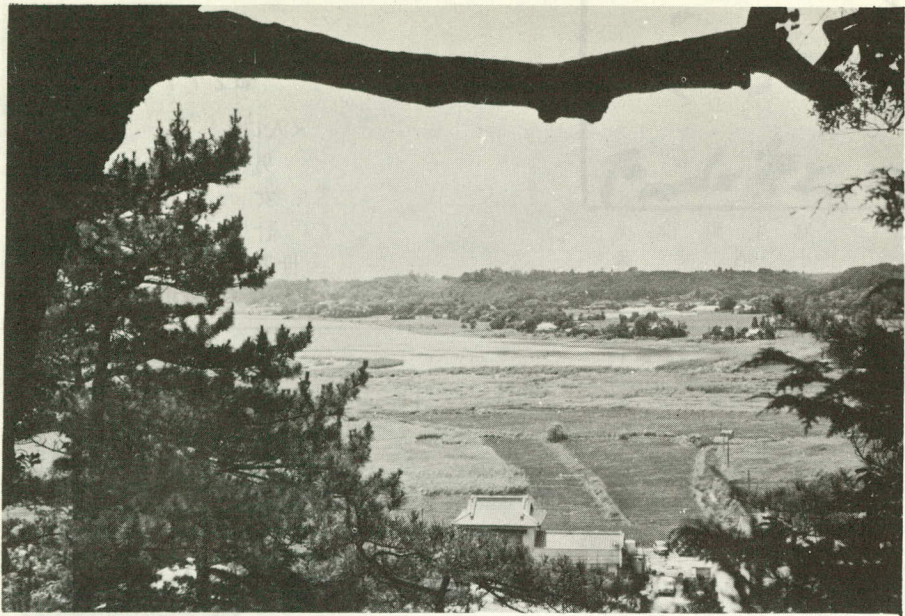
老令・障害・母子・福祉年金の受給者より証書をお預り行ないますから印かんを持参していただきましたが、証書の事務処理が終了しましたので、

〔年金証書交付日程〕

期日	時 間	地区別	場 所
8月23日	午前9時～11時30分	小高	小高中央公民館
	午後1時～3時30分	行方	行方分館
8月24日	午前9時～11時30分	太田	太田分館
	午後1時～3時30分	大和	大和分館
8月25日	午前9時～11時30分	麻生	役場町民課

あなたの船は検査済みですか？

小型船には、自動車の車検と同じ安全検査制度、いわゆ



根小屋 八幡山からの眺望

る船検があり、小型船の所有者に受検義務が課せられています。

在来船は昭和五十二年三月三十一日の検査期限を超過しましたので現在、罰則が適用されていますが、検査は八月三十一日まで従来どおり実施しますので、まだ受検していない方は至急受検してください。

なお漁船登録をしている船舶であつても次のことを行なう船などは検査が必要です。

- 友人や知人を乗せて釣り、投網などをする船
- 農作業などに使う船
- 護岸工事など土木作業に使われる船
- 曳船などに使用する船
- その他雑用船

詳しいことについては、日本小型船舶検査機構那珂湊支所（電話〇二九六―三三三六）へお問い合わせください。

ふるさとめぐり

八幡山

大字根小屋に景勝の地八幡山があります。

北浦湖岸道のほぼ中央に八幡山への入口があり、これを入って行くとはなく幾重にも屈折した石段を登るようになります。ここを登りきると昔常陸大塚家の守本尊として祭祀されたといわれる八幡神社があります。

八幡神社は、与田別命・相殿稲倉魂命を祀つてあるが、創立された年代は明かではありません。

境内には、松・椎などの樹木がうっそうと茂り、木の間に、南方に青々とした田園、北浦の入江が眺望でき、帆船の浮かぶ光景などは、まさに一幅の絵を見るようです。

天崎夏の行事



子守学校の創始者

渡辺先生に関する資料を探しています

本県出身者で幼稚園の前身子守学校を創始した渡辺嘉重氏の足跡を知るため、氏に関する資料を探しています。

渡辺嘉重氏は安政五年（一八五八）九月九日、結城郡に生まれ、明治十二年に師範学校を卒業、県下各地の小学校長を勤め、のちに宮城県視学等を経て同三十八年土浦に常総学院を創立し院長を務めました。中でも明治十九年十一月行方郡書記、第二課長兼第一課長心得を拝命、また同年旧麻生小学校へ教育に関する書籍等を寄贈され、県知事

カメムシの防除で良質米を

カメムシの退治は

ここ数年カメムシ（オオガ）の害を受けた米が沢山出荷されています。等級の格下げや検査に合格しない米が急増しており、生産農家の経済的損失はきわめて大きいものとなっています。

カメムシの防除は

原野などの雑草地から飛んできて稲の穂が出て五〜十日ごろに害を加えます。この時期が防除の適期です。

茨城県勤労者美術展

作品を募集

勤労者が余暇を利用して創作した美術作品を展示し鑑賞する機会を提供することによって、勤労者の健全な文化意識の高揚と明日への勤労意欲の増進を図るため次の要領に

天王崎夏の行事

- 水着モデル撮影会 七月二十四日（日）
- 馬出し祭り 七月二十九日（金）
- シジミ取り大会 八月七日（日）
- 宝探し大会 八月七日（日）

八月の心配ごと相談

- 日時 四・十一・十八・二十五日（毎週木曜）午後一時～三時
- 場所 役場厚生課

八月の療育相談

- 日時 二日（火）午後一時～二時
- 場所 潮来保健所

俳句

短歌

獨居の何か楽しく風薫る

蕪風や千木を見上ぐる異邦人

蕪風や石乗せて置く箱生簀

雲の峰仰ぎ渡舟の客となる

雲の峰娘を待つ耳に救急車

目を細めつ、蕪風裡ペタル踏む

枯れ草を負うたび双手つく老を

告ぐべくもなし子らはなれ住み

検診の胃に異状のなき報せ

老る心に点る安らぎ

配達を終りし老爺ひきとめて

妻は梅酒をすすめてゐたり

藻をよせる白き砂浜陽をはじき

湖辺の夏はすではじまる

風なきて温む谷つ田の水の口に

蜉蝣はつどいて黒くうごめく

乾きたる畑に諸苗植えおいて

夜半降りそめし雨の音きく

高野 登美

山口正之丞

箕輪徳二郎

高野 有美 義政 五町田

助川 朋子 義雄 橋門

おくやみ申し上げます

死亡者 幸世帯主 住所

高橋 フテ81 富田 所

永作 正雄44 富田 所

重川 敬三63は な 麻生

市村光四郎67 保 矢

片岡 馨38喜 久 矢

奈良崎しん81武 雄 蔵

箕輪 三男36 郎 岡

横山 サツ83一 郎 青

生井沢ナカ77千枝子 四

鈴木 三男83 誠 鹿

藤崎 ふみ71文 男 新

菅谷 昌一70隆 一 天

千ヶ崎 孝42八重子 於

大橋 一雄74 淳 下

大野七郎兵衛89善之助 島

出死者 世帯主 住所

磯山 貴文 広 富 田

越川 勝友 安 雄 所

森作 俊彦 秀 雄 粗 毛

廣岡由希子 勇 麻 生

箕輪 雄一 護 大

石黒ゆかり 利 行 大

稲田 美里 満 雄 大

土子 利恵 仲 利 矢

羽生 寿江 進 利 矢

内山 里美 芳 雄 四

高崎 友己 榮 小 牧

藤崎 友己 源 義 新

高崎 孝行 隆 天

鬼沢 光俊 ヨシ 船

田口 卓郎 操 子